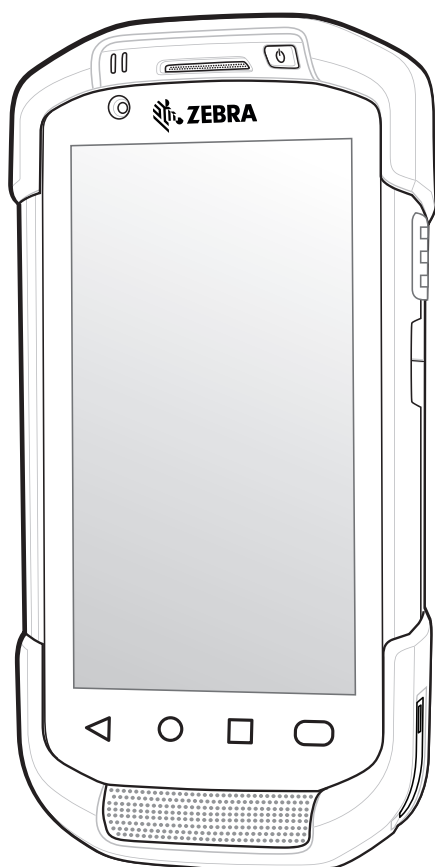


TC72/TC77

タッチ コンピュータ



クイック スタート ガイド



ZEBRA

著作権

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

©2019-2020 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

著作権および商標：著作権と商標情報の詳細については、www.zebra.com/copyright でご確認ください。

保証：保証に関する詳細情報については、www.zebra.com/warranty を参照してください。

エンド ユーザー ソフトウェア使用許諾契約：EULA の詳細情報については、www.zebra.com/eula を参照してください。

使用の条件

- 所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社（「Zebra Technologies」）に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者への開示を行うことは認められません。

- 製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

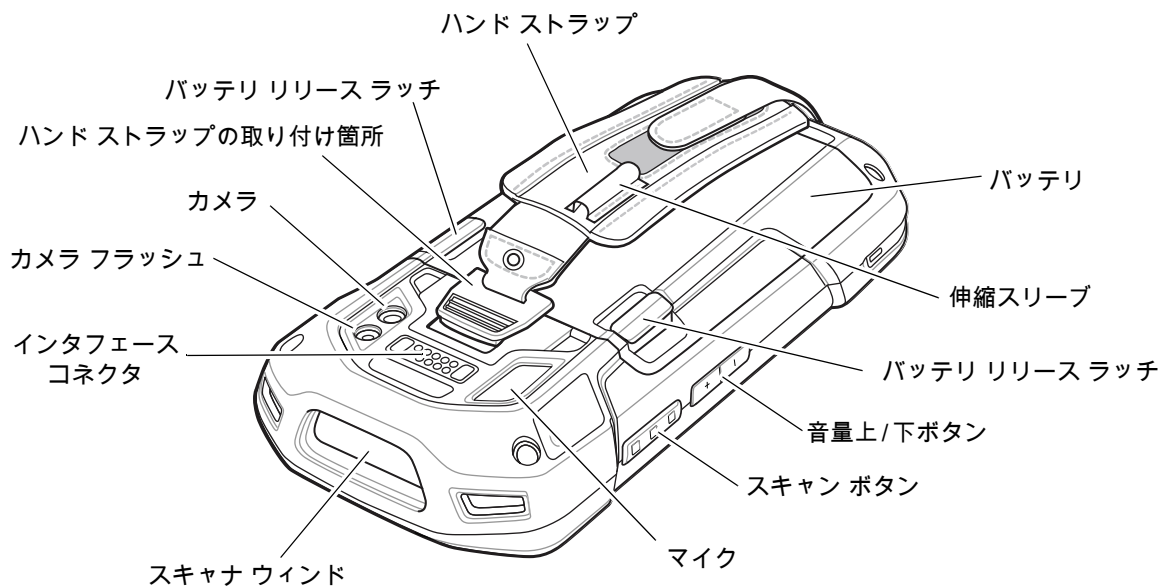
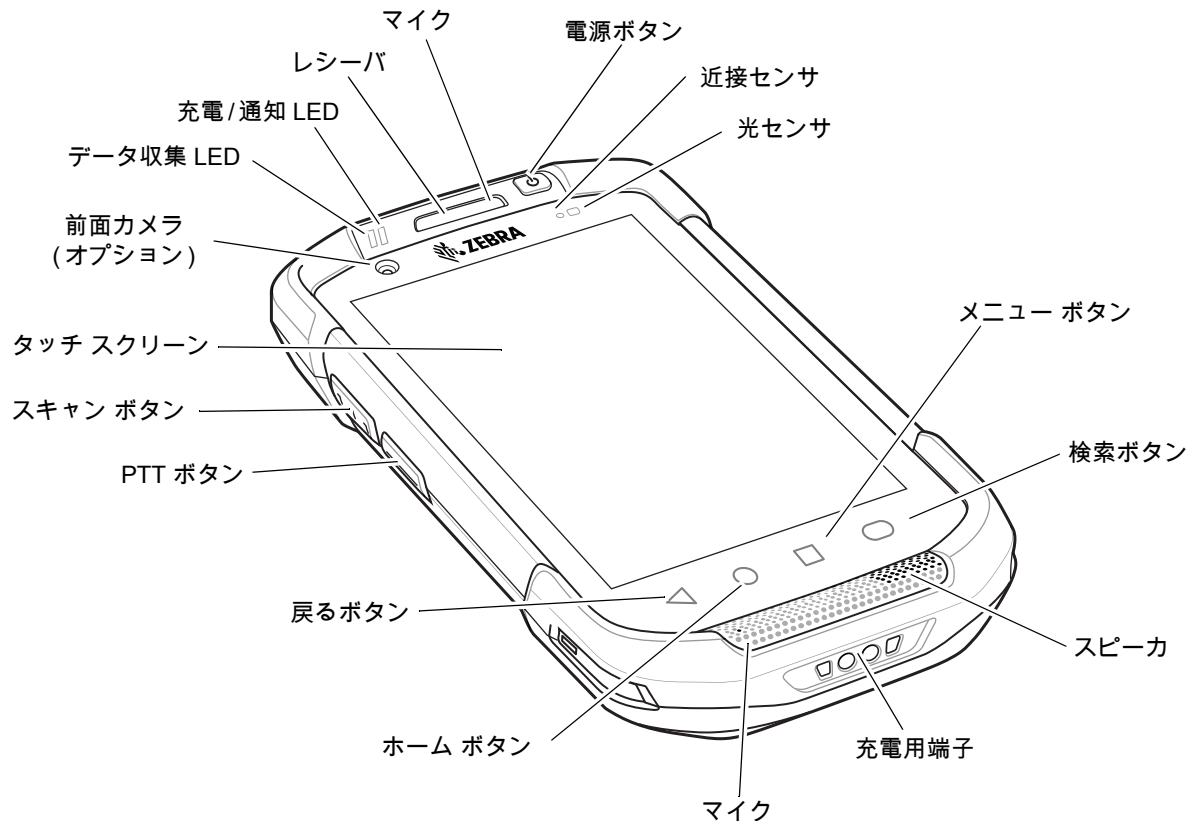
- 免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りが含まれていないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies では、このような誤りが発見された場合にそれを修正し、その誤りから生じる責任を放棄する権利を有しています。

- 責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、または同梱製品（ハードウェアおよびソフトウェアを含む）の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。法域によっては、付随的損害または派生的損害に関する責任の除外または限定を認めていない場合があります。その場合、お客様には上記の限定または除外は適用されません。

機能



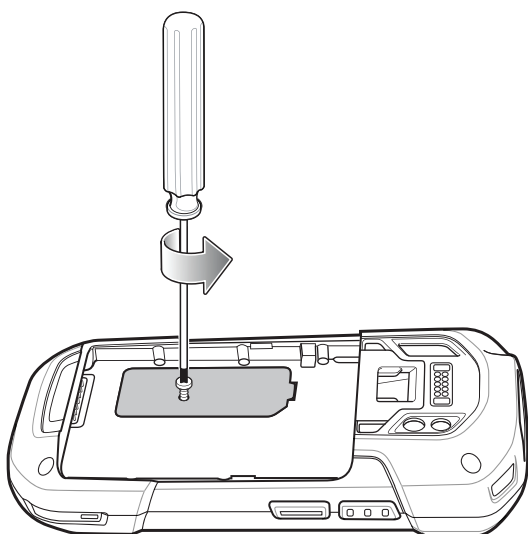
SIM ロック アクセス カバーの取り外し



注 : SIM ロックを搭載した TC77 のみ。

アクセス ドアのある SIM ロック機能を搭載した TC77 モデルは、Microstix 3ULR-0 ネジを使用して固定します。アクセス カバーを取り外すには、Microstix TD-54(3ULR-0) ドライバを使用して、アクセス パネルからネジを取り外します。

図 1 アクセス カバーのネジの取り外す



アクセス カバーを取り付け直した後は、必ず Microstix TD-54(3ULR-0) ドライバを使用してネジを元に戻します。

SIM カードの取り付け



注: SIM カードは TC77 にのみ必要です。

注: nano SIM カードのみを使用してください。



注意: SIM カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。

1. アクセス ドアを持ち上げます。

図 2 アクセス ドアの取り外し

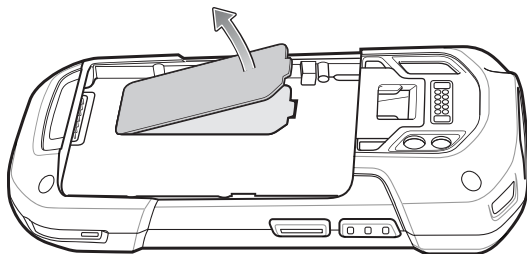
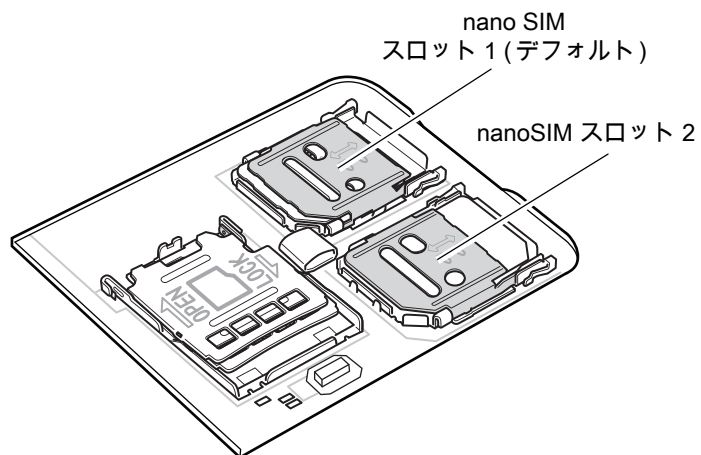
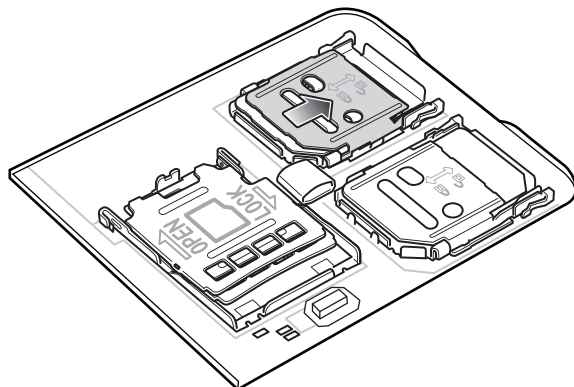


図 3 TC77 SIM スロットの場所



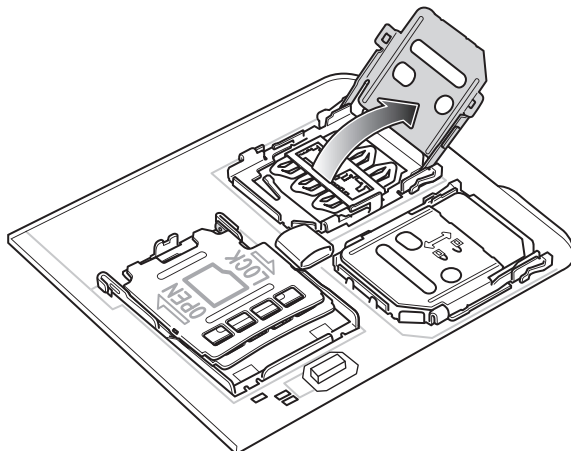
2. SIM カード ホルダをスライドさせてロックを解除します。

図 4 SIM カード ホルダのロック解除



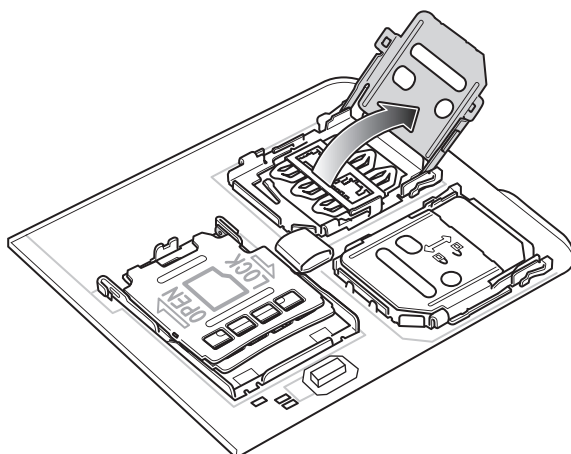
3. SIM カード ホルダ ドアを持ち上げます。

図 5 SIM カード ホルダを持ち上げる



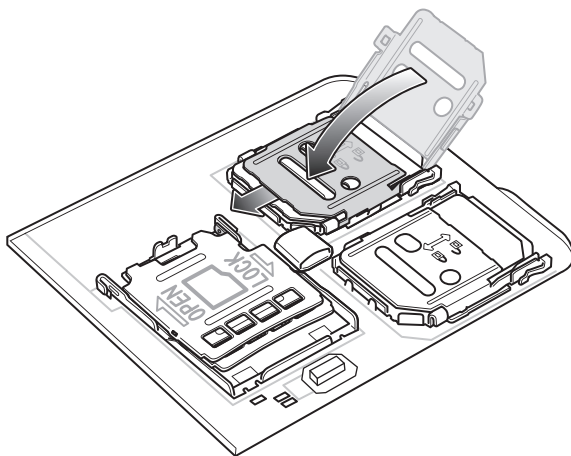
4. カードホルダに nano SIM カードを下向きに置きます。

図 6 SIM カードをホルダに置く



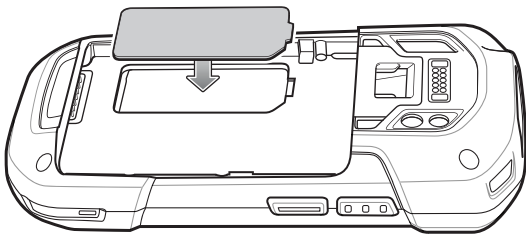
5. SIM カードホルダドアを閉じ、スライドさせてロックします。

図 7 SIM カードホルダドアを閉じてロックする



6. アクセス ドアを元に戻します。

図 8 アクセス ドアを元に戻す



7. アクセス ドアを押し下げて、しっかりセットされていることを確認します。



注意: 適切なデバイスの密閉状態を確保するために、アクセス ドアは元の位置にしっかりと取り付ける必要があります。

SAM カードの取り付け



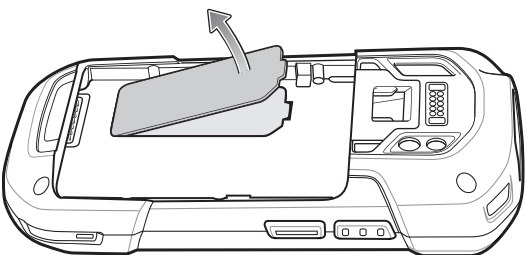
注意: セキュア アクセス モジュール (SAM) カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。



注: microSAM カードを使用する場合、サードパーティ製のアダプタが必要です。

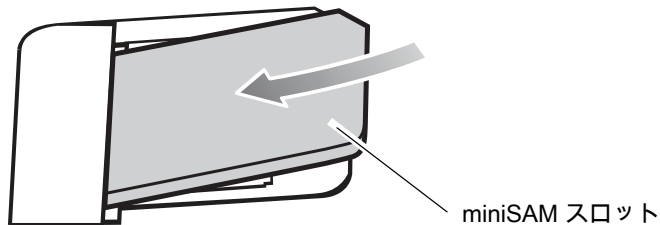
1. アクセス ドアを持ち上げます。

図 9 アクセス ドアの取り外し



2. SAM カードの先端部をデバイスの中央に向け、端子面を下にして、SAM スロットに挿入します。

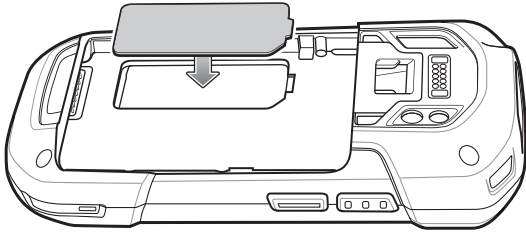
図 10 SAM カードの取り付け



3. SAM カードが正しく取り付けられていることを確認します。

4. アクセス ドアを元に戻します。

図 11 アクセス ドアを元に戻す



5. アクセス ドアを押し下げて、しっかりセットされていることを確認します。



注意: 適切なデバイスの密閉状態を確保するために、アクセス ドアは元の位置にしっかりと取り付ける必要があります。

microSD カードの取り付け

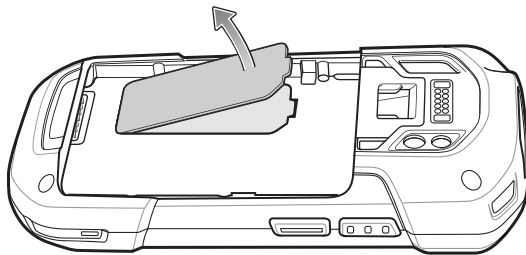
microSD カード スロットを不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。スロットはバッテリー パックの下にあります。詳細な情報については、カードに添付されているマニュアルを参照し、メーカー推奨の使用方法に従ってください。



注意: microSD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。

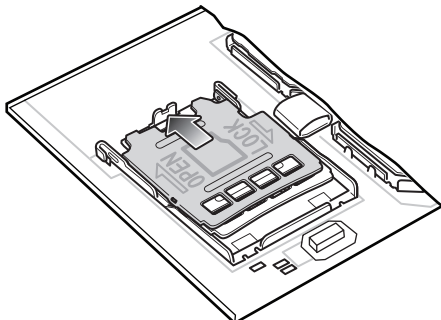
1. ハンドストラップが取り付けられている場合は、取り外します。
2. アクセス ドアを持ち上げます。

図 12 アクセス ドアの取り外し



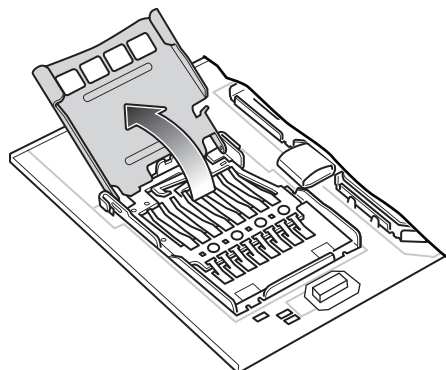
3. microSD カード ホルダをスライドさせて開きます。

図 13 microSD カード ホルダを開く



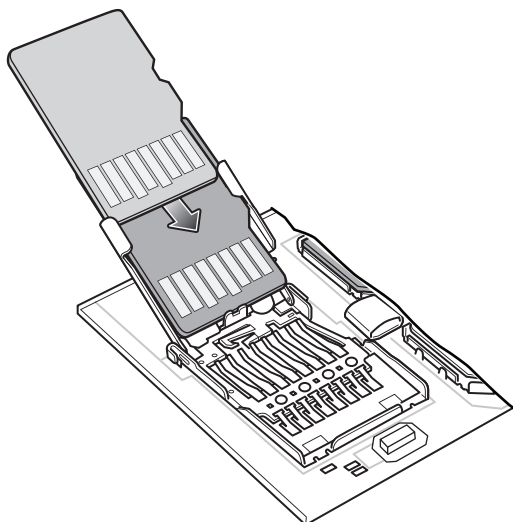
4. microSD カード ホルダを持ち上げます。

図 14 microSD カード ホルダを持ち上げる



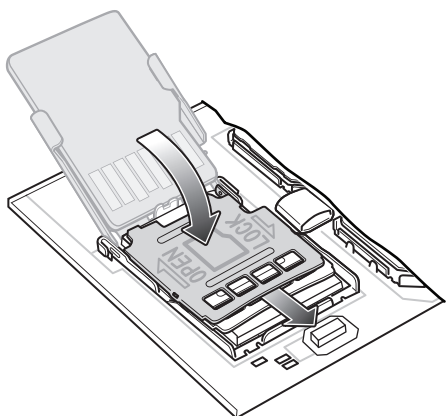
5. microSD カードをカード ホルダ ドアに挿入して、ドアの両端にある固定タブ内部にスライドさせます。

図 15 microSD カードをホルダに挿入する



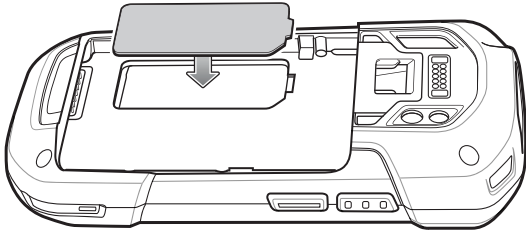
6. microSD カード ホルダ ドアを閉じ、スライドさせてロックします。

図 16 ホルダの microSD カードを閉じてロックする



7. アクセス ドアを元に戻します。

図 17 アクセス ドアを元に戻す



8. アクセス ドアを押し下げて、しっかりセットされていることを確認します。



注意: 適切なデバイスの密閉状態を確保するために、アクセス ドアは元の位置にしっかりと取り付ける必要があります。

ハンドストラップとバッテリーの取り付け



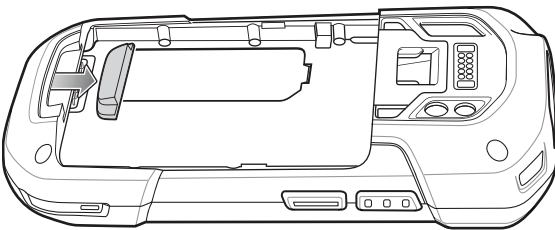
注: 特にバッテリー受けに対して、ユーザーによるデバイスの改変 (ラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなど) を加えると、デバイスやアクセサリの意図された性能が損なわれる可能性があります。シーリング (保護等級 (IP))、衝撃性能 (落下および転倒)、機能、耐熱性などの性能レベルが影響を受けることがあります。バッテリー受けにラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなどを付けないでください。



注: ハンドストラップの取り付けはオプションです。ハンドストラップを取り付けない場合は、このセクションをスキップしてください。

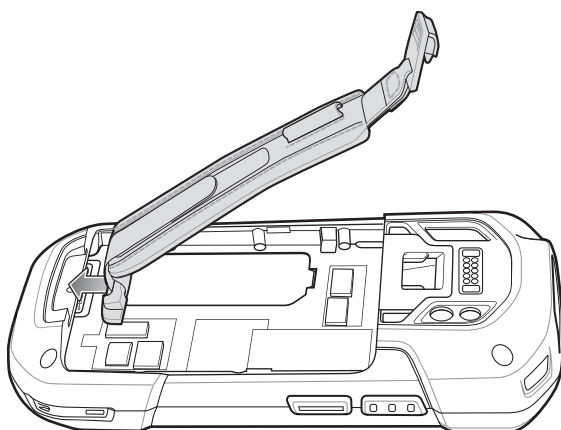
1. ハンドストラップのフィラーをハンドストラップ スロットから取り出します。将来交換する場合のために、ハンドストラップのフィラーを安全な場所に保管します。

図 18 フィラーの取り出し



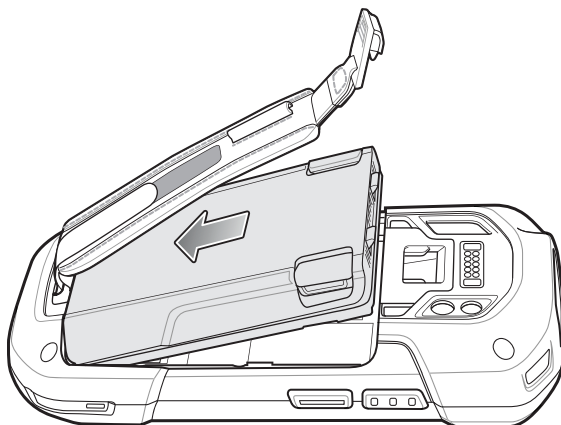
2. ハンドストラップ プレートを手ストラップ スロットに挿入します。

図 19 ハンドストラップの挿入



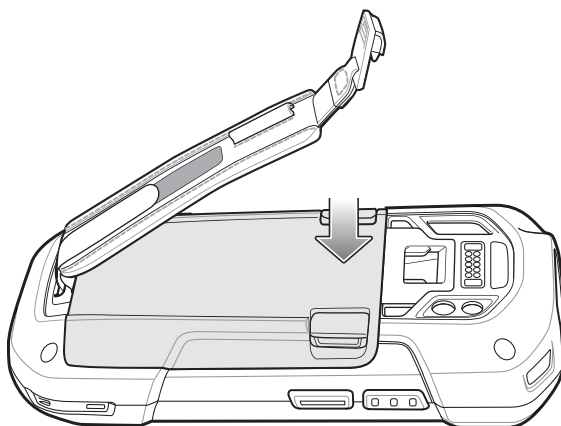
3. デバイスの背面のバッテリー収納部に、バッテリーを挿入します。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。

図 20 バッテリーの下側をバッテリー収納部に挿入



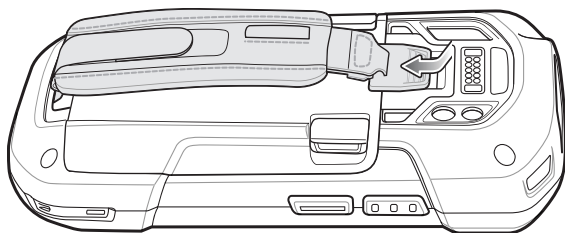
4. バッテリー リリース ラッチが所定の位置に収まるまで、バッテリーをバッテリー収納部に押し込みます。

図 21 バッテリーを押し込む



5. ハンドストラップ クリップをハンドストラップ取り付けスロットに合わせ、所定の位置に収まるまで押し込みます。

図 22 ハンドストラップクリップの固定



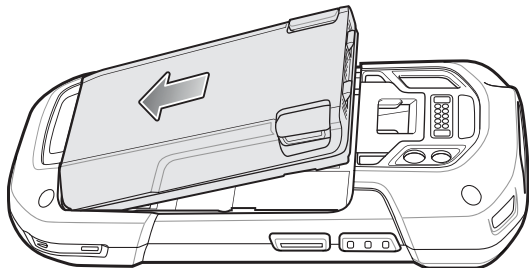
バッテリーの取り付け



注: 特にバッテリー受けに対して、ユーザーによるデバイスの改変 (ラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなど) を加えると、デバイスやアクセサリの意図された性能が損なわれる可能性があります。シーリング (保護等級 (IP))、衝撃性能 (落下および転倒)、機能、耐熱性などの性能レベルが影響を受けることがあります。バッテリー受けにラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなどを付けないでください。

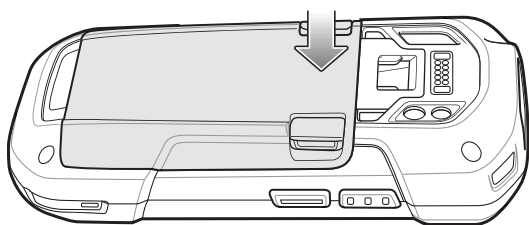
1. デバイスの背面のバッテリー収納部に、バッテリーを挿入します。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。

図 23 バッテリーの下側をバッテリー収納部に挿入



2. バッテリー リリース ラッチが所定の位置に収まるまで、バッテリーをバッテリー収納部に押し込みます。

図 24 バッテリーを押し込む



デバイスの充電

デバイスおよびまたは予備バッテリーを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。

表 1 充電と通信

説明	部品番号	充電		通信	
		バッテリー (デバイス内)	予備バッテリー	USB	イーサネット
2 スロット充電 専用クレードル	CRD-TC7X-SE 2CPP-01	○	○	×	×
2 スロット USB/ イーサネット クレードル	CRD-TC7X-SE 2EPP-01	○	○	○	○
5 スロット充電 専用クレードル	CRD-TC7X-SE 5C1-01	○	×	×	×
4 スロット充電 専用クレードル (バッテリー充電器付き)	CRD-TC7X-SE 5KPP-01	○	○	×	×
5 スロット イーサネット クレードル	CRD-TC7X-SE 5EU1-01	○	×	×	○
4 スロット予備 バッテリー充電器	SAC-TC7X-4B TYPP-01	×	○	×	×
スナップオン USB ケーブル	CBL-TC7X-CB L1-01	○	×	○	×
USB ケーブル キャップ	CHG-TC7X-CL A1-01	○	×	×	×

TC72/TC77 の充電



注: デバイスのユーザー ガイドに記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従っていることを確認してください。

1. デバイスを充電スロットに挿入するか、USB 充電ケーブルをデバイスに接続します。
2. デバイスが正しくセットされていることを確認してください。

充電中は、通知/充電 LED が黄色で点灯し、充電が完了すると緑色の点灯に変わります。充電インジケータについては、[表 2](#)を参照してください。

4,620mAh バッテリーは室温の場合、5 時間以内にフル充電が完了します。

表 2 充電/通知 LED 充電インジケータ

状態	意味
消灯	デバイスが充電されていません。デバイスが正しくクレードルに挿入されていないか、電源に接続されていません。充電器/クレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 (4 秒に 1 回点滅)	デバイスを充電中です。
緑色で点灯	充電が完了しました。
黄色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 温度が低すぎる、または高すぎる。 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。
赤色でゆっくり点滅 (4 秒に 1 回点滅)	デバイスを充電中ですが、バッテリーの寿命が近づいています。
赤色で点灯	充電を完了しましたが、バッテリーの寿命が近づいています。
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	充電エラーですが、バッテリーの寿命が近づいています。次のような場合にこの状態になります。 温度が低すぎる、または高すぎる。 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。

予備バッテリーの充電

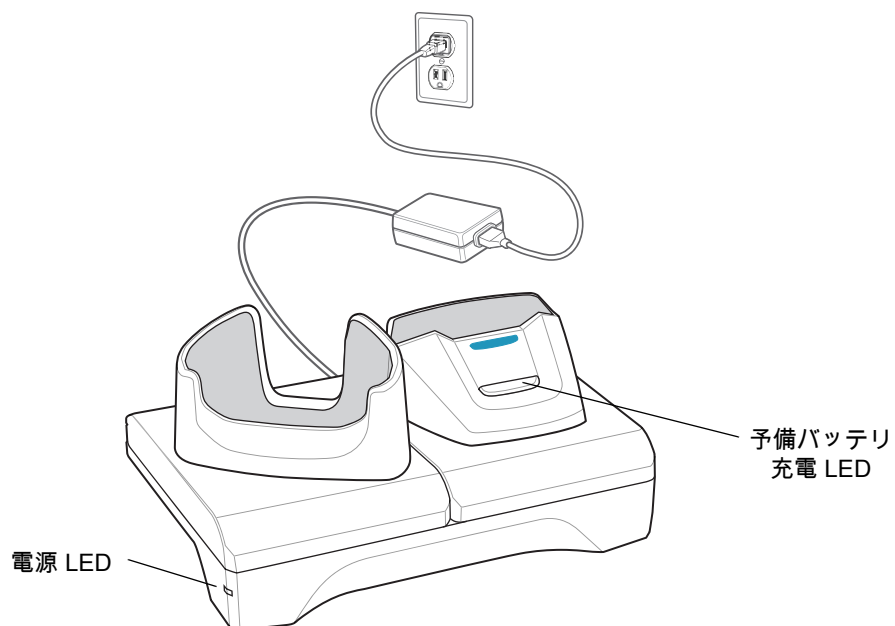
1. 予備バッテリー スロットに、予備バッテリーを挿入します。
 2. バッテリーが正しく挿入されていることを確認します。
充電中であることを示す、予備バッテリー充電 LED が点滅します。充電インジケータについては、表 3 を参照してください。
- 4,620mAh バッテリーは室温の場合、5 時間以内にフル充電が完了します。

表 3 予備バッテリー充電 LED インジケータ

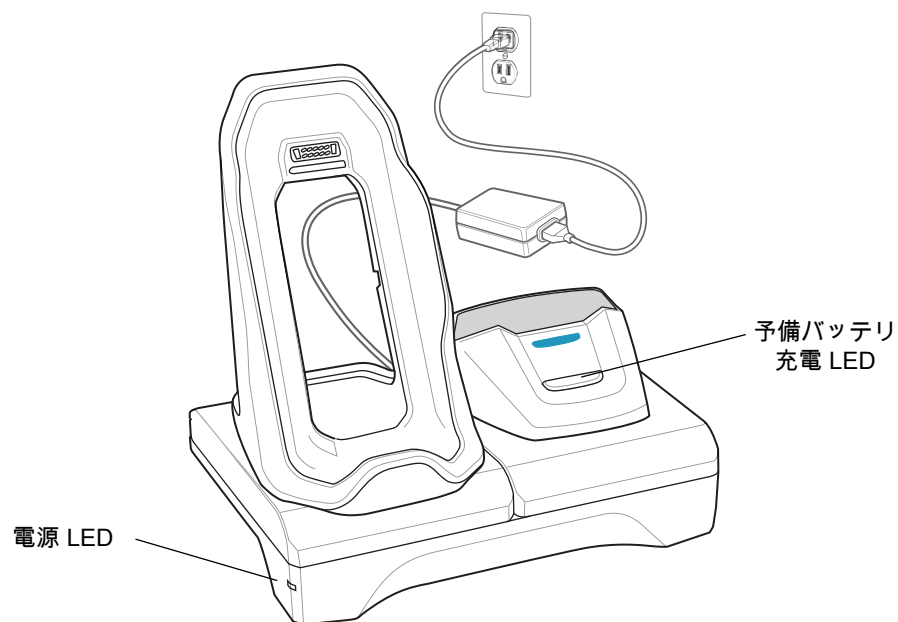
状態	意味
消灯	バッテリーが充電されません。バッテリーが正しくクレードルに挿入されていないか、電源に接続されていません。クレードルに電源が供給されていません。
黄色で点灯	バッテリーを充電中です。
緑色で点灯	バッテリーの充電が完了しました。
赤色で速く点滅 (1 秒間に 2 回点滅)	充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 - 温度が低すぎる、または高すぎる。 - 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。
赤色で点灯	消耗したバッテリーが充電中であるか、または完全に充電されています。

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約 37°C 以上 (98°F 以上) など) には、デバイスまたはクレードルは、バッテリーの充電を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つ場合があります。異常な温度のために充電が無効になった場合は、デバイスおよびクレードルの LED に表示されます。

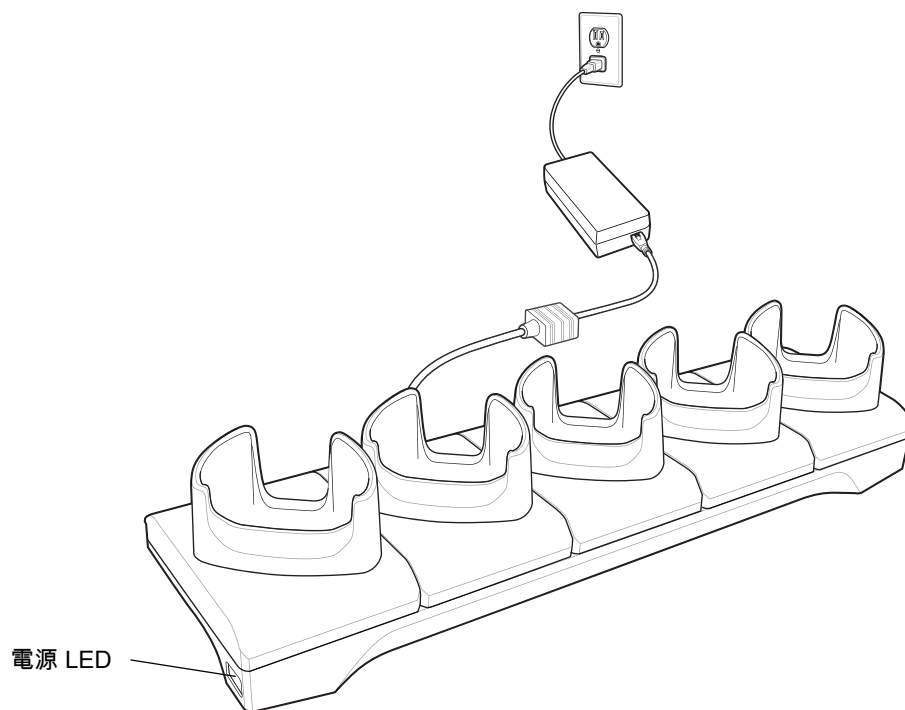
2 スロット充電専用クレードル



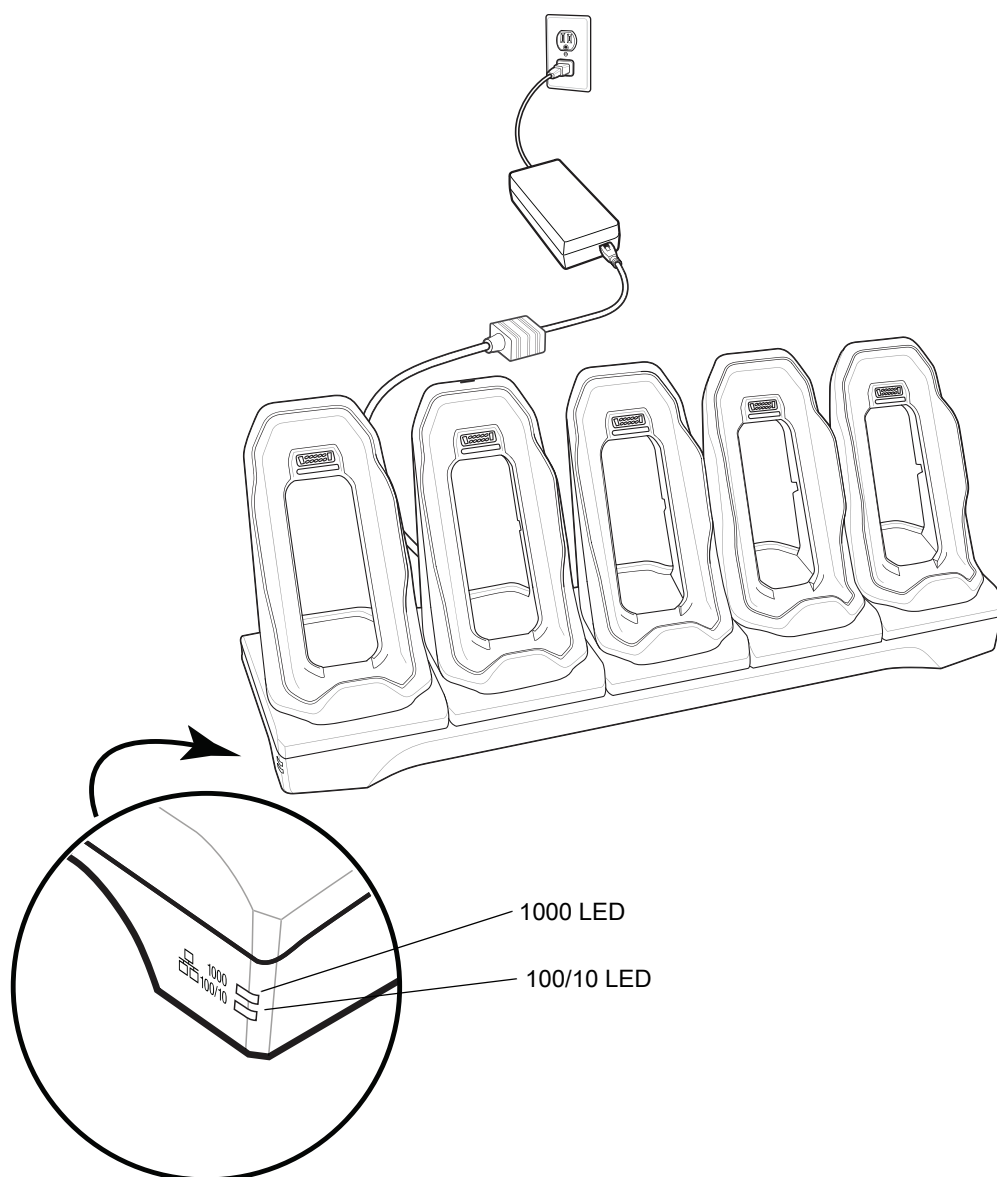
2 スロット USB/イーサネット クレードル



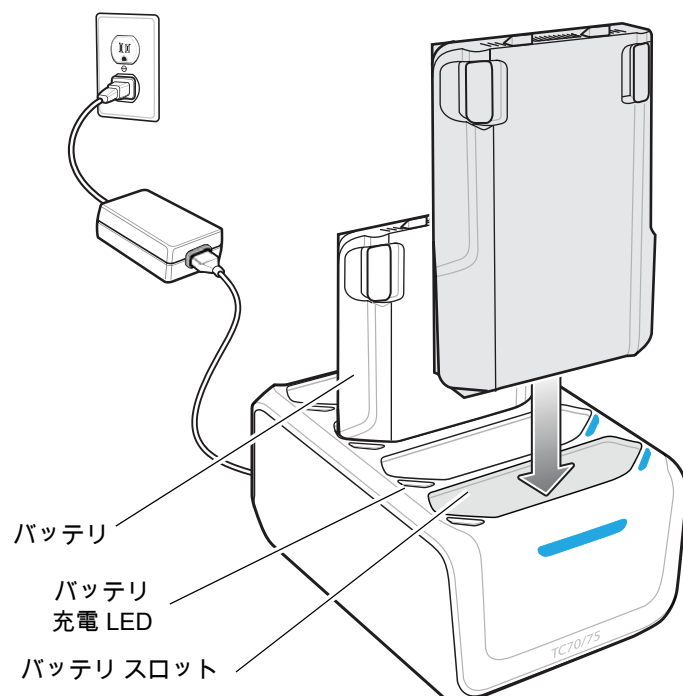
5 スロット充電専用クレードル



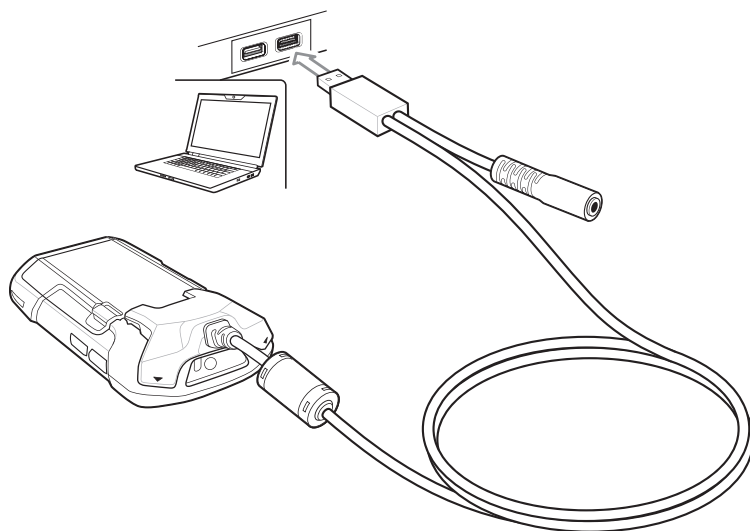
5 スロット イーサネット クレードル



4 スロット バッテリー充電器



スナップオン USB ケーブル

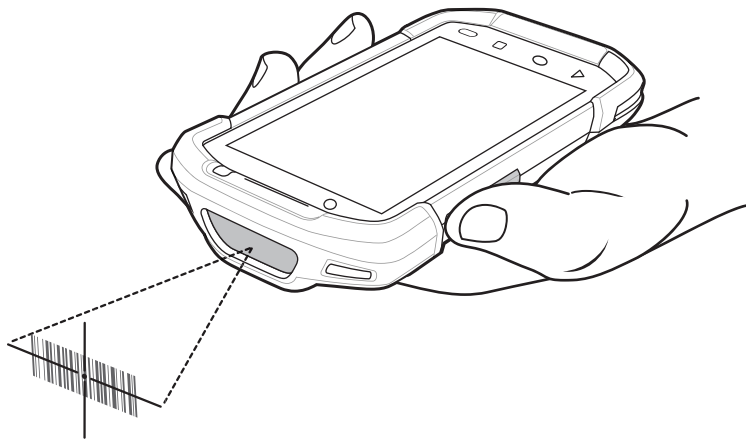


イメージャでのスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。デバイスには、ユーザーがイメージャでバーコード データを読み取ったり、バーコード コンテンツを表示したりできる、DataWedge アプリケーションがあります。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. デバイスの上部にあるスキャナ ウィンドウをバーコードに向けます。

図 25 イメージャでのスキャン



3. スキャン ボタンを押したままにします。
照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。



注: デバイスがピックリスト モードの場合、十字またはドットの照準がバーコードに当たるまでイメージャはバーコードを読み取りません。

4. 照準パターンの十字内の領域にバーコードが納まっていることを確認します。明るい照明下でもよく見えるようにドットの照準を使用しています。

図 26 照準パターン

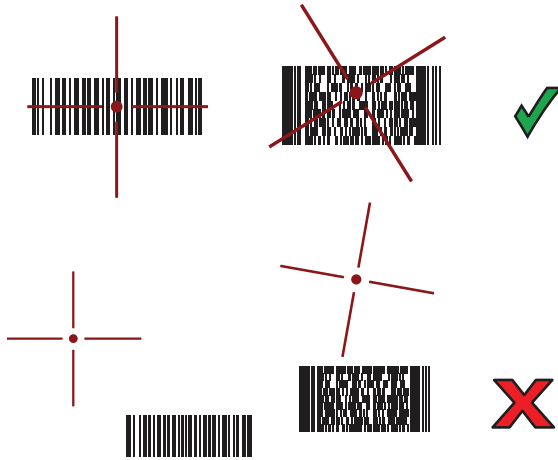


図 27 ピックリスト モード: 複数のバーコードがある場合



5. デフォルト設定の場合、データ収集 LED が緑色で点灯してビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。
6. スキャン ボタンを放します。
バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。



注: イメージャの読み取りは、通常、瞬時に行われます。精度の悪いバーコードや読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、デバイスがデジタル写真 (画像) を撮影する手順を繰り返します。

